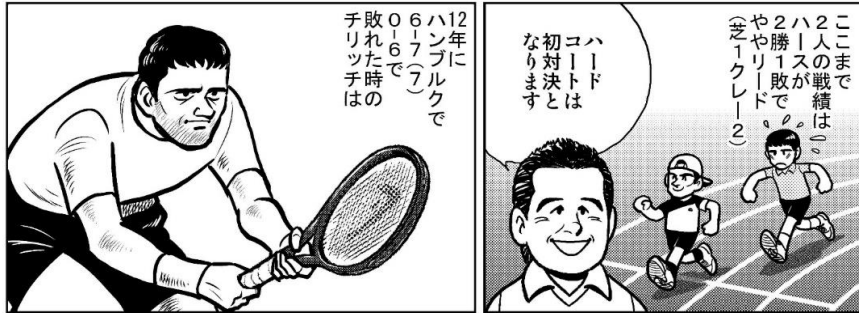


《ミニブレーク156》

# チリツチのオールラウンダー対策

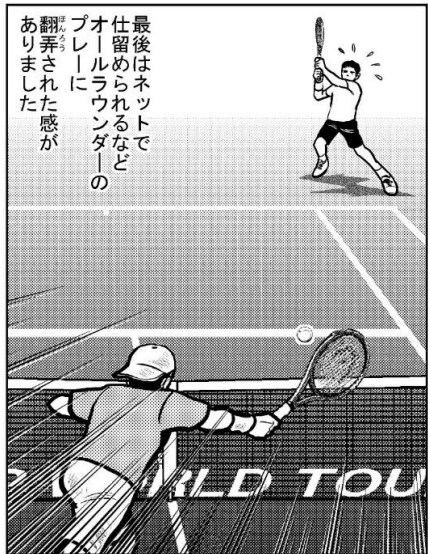
監修/辻野隆三(MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



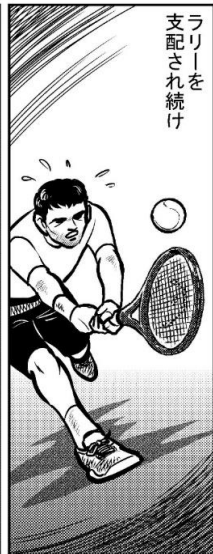
12年にハンブルクで0-7(7)で敗れた時のチリツチは

ハードコートは初対決となります

ここまで2人の戦績は「ハースが2勝1敗で、チリツチが1勝2敗」の芝1クレー2



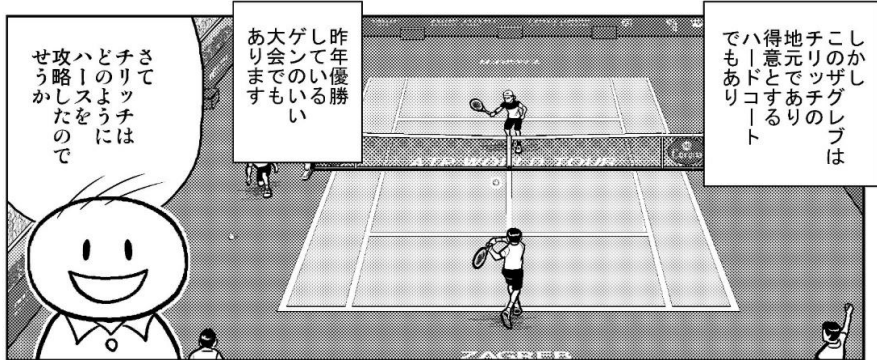
最後はネットで仕留められるなど、オールラウンダーのプレーに翻弄された感がありました



ラリーを支配され続け



ストロークのコントロールが良いハースに



さてチリツチは、ハースの攻撃をかわすか、

昨年優勝した大会でもありません

しかしチリツチの得意とするハードコートでもありません



今回はそのチリツチに焦点を当て、2月に行われたPBBZザグレブ・インドア大会(ハードコート)での対ハース戦を紹介していきます

準決勝ではフェデラーに1セットも与えず勝利するなど、大いなる躍進を遂げています

その勢いを止めたチリツチもまた、初優勝を果たしました



**トミー・ハース**  
 1978年4月3日生まれの36歳  
 身長188cm/体重84kg  
 ドイツ・ハンブルク出身  
 対戦時のランキング12位

**マリチツチ**  
 1988年9月28日生まれの26歳  
 身長198cm/体重82kg  
 ボスニアヘルツェゴビナ・メジュゴリエ出身  
 対戦時のランキング37位

Point ①

高い打点でスライスを打つと思えば多彩でハバハバのショットが多彩で

前に出て強打するつもりです

そこでチリツチの第一は

アド側からのサーブをセンターに集めリターンさせないというものでした

Point ②

最後の短ボクはバックスで打つ

チリツチはサーブだけでなくバックハンドを試みます

徹底的にボールを集める

第1セット第2ゲーム15でのラリーは

スマッシュ！

そのままとネットに出て

第5ゲームの2ポイント目もハバハバのフォアを攻め続け

チャンスを奪い取る

ハバハバのフォアは素晴らしい

片手打ちなので両手打ちに苦しい反撃は難しくなります

そこでラリー戦はフォアで打たせ最後にバックでという作戦をとった

チリツチはこれで第1セットを6-3で先取します

その球速はなんと199 km/h!

第1セットお互いにサーブダウンしてからの第3ゲーム15からセンターにサーブをエース

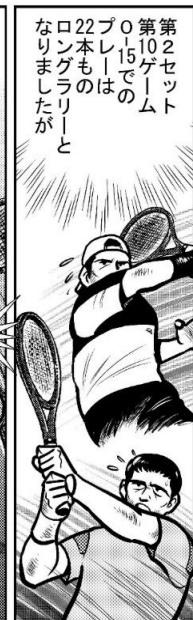
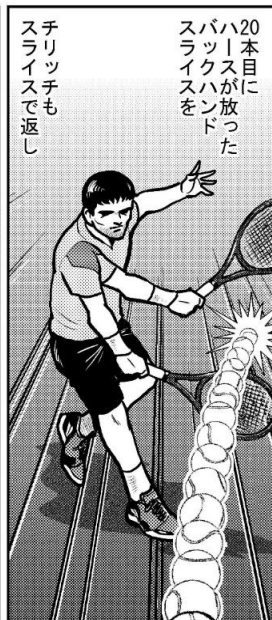
そして相手サーブをブレイクした直後の2ポイント目にセンターにサーブを打ち込んでエースを奪うのです

ド  
キ  
ン  
ン  
ン

Point ④



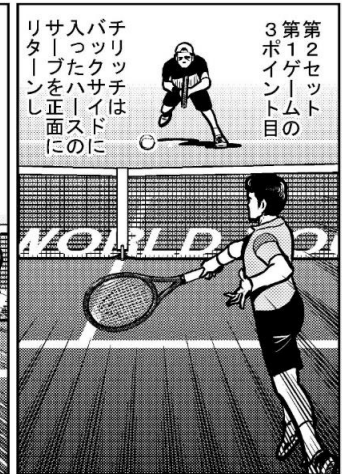
ハースと対戦する時は、第一に考えなければならぬのは、滑ってくるバックハンドスライスにどう対処するかです。



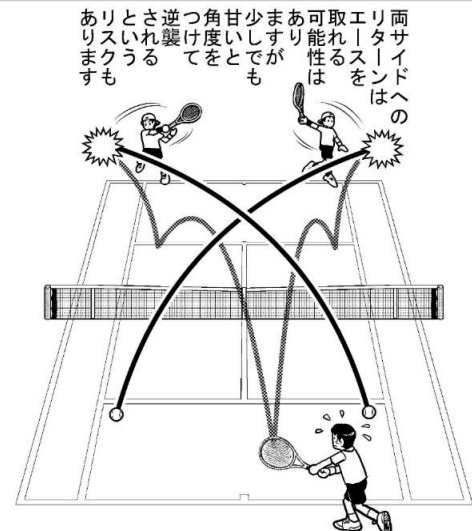
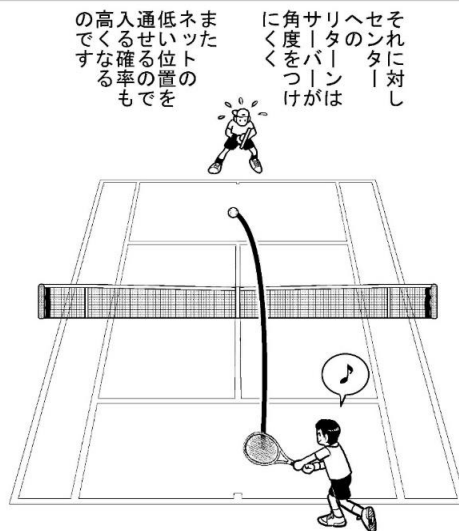
低い打点でも、処理しやすい。長スライスは、我慢比べに役立ったショットです。



Point ③



ハース攻略法、その3は、正面へのリターンです。



彼はコートにイワニセビッチを迎えてからかなり進歩しましたね

ゴラン・イワニセビッチ

1971年9月13日生まれ  
クロアチア・スプリト出身  
2001年ウィンブルドン優勝を含むシングルス22勝ダブルス9勝  
独特のクイックモーションから繰り出される高速スライスサーブは『サンダー』と異名をとるほどの切れ味だった

おっ またしても懐かしネームのコーチ登場!

以前のチリッチは追い詰められると強引にハードヒットしていたのが軌道の高いボールを使って粘つたり早い仕掛けをせず2、3本つなげてから攻撃するようになっていきました

これはサーブに絶対の自信があり、リターンゲームで辛抱すれば勝利につながるという裏付けがあるからでしょう

このオールラウンドな対する戦法はUSオープンでの対フェデラー戦でも十分に生かされた

ひと言で言うと『我慢のテニス』を教えられた身につけるといいことですね

私やゴランはキレイやすい兄ちゃんといメーラジですが

男子三日会ワザレバ刮目シテ見ヨ

《今日のポイント》

今回はバックハンドが得意なオールラウンドへの対策です

- ① アド側からのサーブはセンター狙い
- ② ストローク戦はフォアに集めよう
- ③ 正面へのリターンで角度をつかせなめ
- ④ バックハンドスライスやネットタッチで対抗すべし

早速やってみようねん

またチリッチはハースがスライスを打つと予測したらネットタッチにすることもありました

第2セット  
0-15で

ハースのバックハンドスライスを

回り込み  
逆クロスへ

一呼吸遅らせて

6-3 6-4  
チリッチ勝利!

フオアボレーを決めます

つまり「スライスならば早いボールはこない」という好判断です